

平成 30 年 8 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

8 月の業種別景況の前月比 DI 値は 14 業種の内、好転が 3 業種、昨年同等が 9 業種、悪化が 2 業種となり、全体の景況感 DI 値も 7 月に比べ好転した。

猛暑の影響から、卸売業では飲料関連商品等の売上が増加したとの報告がある一方で、商店街やサービス業では客足の減少により売上が減少したとの報告があった。

山口県の中小企業は、慢性的な人手不足による受注の機会損失や後継者難による廃業等が問題となっている。

山口県の主要指標 DI 値（平成 30 年 8 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：7.5% 悪化：30.0% DI 値：▲22.5% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：13.8% 減少：31.3% DI 値：▲17.5% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：12.5% 悪化：30.0% DI 値：▲17.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値（業界の景況）（平成 30 年 8 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲42.9	0.0	▲33.3	▲50.0	▲50.0	22.2	0.0	▲18.1
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
20.0	▲44.5	▲75.0	▲18.2	▲30.0	0.0	▲100.0	▲25.5	▲22.5
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	<p>続く猛暑により、店舗の売上は対前年同月比で減少。盆期間は持ち直したものの、依然として来店客が少なくなっている。</p>	<p>パン・菓子製造業 山陽小野田市</p>
	<p>猛暑により売上が減少している。</p>	<p>パン・菓子製造業 下関市</p>
	<p>売上は、対前年同月比▲7.1%と厳しい状況が続く。依然として土日祝の売上が伸びず、お盆期間も対前年比で5%程度のマイナス実績。猛暑続きによる出控えも影響しているとみられる。萩市の求人環境が非常に厳しく、正職員の欠員補充がままならない状況。ローカルの求人難も深刻な状況になってきているようだ。2年後の開業20周年に向けたリニューアル計画の構築を始めた。</p>	<p>水産食料品製造業 萩市</p>
	<p>塩干珍味などの食材の動きが少ない。原材料の値上げがじわじわと影響している。7月の豪雨の影響で物資の配送に大きく問題が起こり、想定外の配送料の増加が起こった。早くJRなどの復旧を願う。</p>	<p>水産食料品製造業 下関市</p>
	<p>記録的な猛暑により、雨が全く降らない日が続き、野菜農業者に大きな被害を与えた。地球温暖化による気候変動により、予測できないような事態が起こっているため、台風対策を含め、本格的な検討が必要となる。</p>	<p>精穀・製粉業</p>
繊維工業	<p>8月1日に外国人技能実習生が4名帰国し、現在59名。</p>	<p>下着類製造業</p>
	<p>秋・冬物の生産が終わり、2019年春物の生産準備のため、資材上がり待ちの状態。生産効率が非常に悪く、しばらくこの状態が続きそうである。</p>	<p>外衣・シャツ製造業 萩市</p>
	<p>60歳以上の従業員は、猛暑の時季だけ本人希望により時短勤務としている。受注は、仕掛品の特性上、安定している。</p>	<p>外衣・シャツ製造業 山陽小野田市</p>
木材・木製品	<p>公共工事関連の製材が一段落したため、設備操業度は低下。</p>	<p>製材業・木製品製造業 山口市</p>
	<p>高齢で後継者がいないため、廃業した企業がある。</p>	<p>製材業・木製品製造業 岩国市</p>
印刷	<p>閑散期のため、受注は停滞している。印刷営業講座を4日間開催した。（組合員企業10社、22名）</p>	<p>印刷 下関市</p>
	<p>8月の受注が減少したため、9～10月の売上に響くことが予想される。</p>	<p>印刷 山口市</p>
窯業・土石製品	<p>8月の出荷量は （平成29年8月） 骨材 97%、路盤材86%、再生材119% ↓ （平成30年8月）</p>	<p>砕石製造業</p>

	骨材 1 1 9 %、路盤材 1 4 8 %、再生材 1 2 1 % 民間の箱物工事（マンション等）が一時的に出たので、出荷数量が上がっているが、公共工事が増えたわけではない。	
	出荷量は、前月比 9 8 %、前年同月比 9 0 %。平成 3 0 年度は前年度比約 8 7 %と厳しい見通しとなっている。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン価格は安定しているが、値上げの動きがある。	生コンクリート製造業
	お盆という事で、各テレビ局が現代のお墓事情の特集を放送している。祭祀継承者が近くに居ない為、田舎の墓石の撤去・処分をする家が増えてきているのもテレビの影響かと思う。作業費用も併せて放送されているが、都会の霊園での作業か田舎の山の上にある大きい墓石の撤去かにより、費用が変わってくる事も明確にしておいてほしいと思う。	石工品製造業
	猛暑の影響か、市内観光客が前年同月と比較して減少傾向である。前月から引き続き良くない状態が続いている。対前年同月比の売上は、萩市内の萩焼小売店ではやや減少、ギフト・卸関係・百貨店では横ばいからやや減少、浅草アンテナショップでは若干アップとなっている。9月14日から始まる山口ゆめ花博による萩への観光客増加に期待したい。	陶磁器・同関連製品製造業
一般機械	盆休みがあったので、若干落ち込みが見られたが、一般的には前月と同様の推移。慢性的な人材不足の影響のため、受注の機会損失を生じている。自動車関連は好調。設備関係では、中国・東南アジアの注文が増加。年度内は残業をしながら受注を賄う予定。	一般機械器具製造業 防府市
	機械検査、機械加工関係、食肉加工、惣菜、自動車関係等全ての職種で業績は好調で、残業も多い。職種を問わず、外国人技能実習生の新規受入増員の相談が多い。制度改正に伴う、3号移行者の入国も順調。拡大枠の利用についても順調で、今後とも増員の傾向にある。職種に関係なく、人員の不足が大きな課題となっている。但し、介護の受け入れについては、ハードルが高いため慎重に対応しているところである。来年4月の新制度の創設について、多くの企業から問い合わせがある。	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	現状、鉄道車両、半導体製造装置、産業プラント部門ともに繁忙な状況が継続中。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	高騰と深刻な魚の不漁で、在庫に影響が出ている。	乾物卸売業
	海水温が高く時化も多いため、魚の入荷が少なく、魚の育ちも悪い。ふぐは安値が続いている。	生鮮・魚介卸売業
	猛暑が続き、製氷・飲料関連商品の売上増で、収益増に期待。	各種商品卸売業
小売業	今月は台風の被害も少なく、晴れの日、暑い日が続い	化粧品小売業

	たため、日焼け止めなど夏物化粧品が売れている。とくに、美白関連の商材はよく売れており、高額のものも売れている。来月頃から農繁期に入ることもあるので、予約活動をしている店舗も多い。	
	西日本豪雨災害の影響は、小売業界へ広く暗い影を落としている。一部に復興特需はあるが、被災者はもちろん、被災しなかった人々も、消費を伸ばす方向へ気持ちがかたない模様。一方で、8月は過去最多数の台風が列島を直撃し、大きな災害に至らなかった地域でも、飲食業、サービス業を含め物販業は全体に冷え込みが見られる。各所のレジャーイベント（夏祭りなど）も縮小粛正を余儀なくされ、派手な消費活動に発展しなかった。平穏な日があつてこそ、小売業は地道な業績が積み上げられるものと再認識した。	各種商品小売業 岩国市
	「景気は回復している」と言われているが、厳しい状況であり、雇用も補充がない。猛暑の影響で例年より客数が少なく、大型店舗に流れた模様。固定客の来店は通常通りあるが、売上は厳しい。駐車場の売上も影響を受けている。	各種商品小売業 山口市
	7月にお客様還元のポイント祭を開催し、多数商店街商品券の交換を行ったことにより、8月はその商品券を使つての買い物が多かった。商品券の期限が9月末までなので、9月も売上に繋がることに期待。	各種商品小売業 下関市
	今月も、核の衣料品店舗が改装に伴うセールを実施し、全体売上が引き上げた。他の店舗の半数以上は、前年売上を下回っている状況。	各種商品小売業 長門市
商店街	猛暑の影響により、来街者数の減少と売れ筋商品の偏りがみられた。競争店の乱売やポイント還元に対応ができない状況。夏物のセールがほぼ終了したが、暑さにより秋物への切り替えが難しい。	山口市
	酷暑と大型店撤退のニュースで、沈滞ムードが漂っている。今後の不透明さに不安を感じている。	宇部市
	日頃から来街者が少ない上に、酷暑によりさらに厳しい状況である。その中で、数ヶ月前に開店した飲食店はまだ人気が続いているので、今後も期待している。	萩市
サービス業	猛暑により、すっきりしたいとカットに来店する客が増加したことで、来店者数が伸びたが、汗をかくとの理由からパーマ、カラーの比率が減少傾向にある。	美容業
	自然災害や猛暑の影響で、来店サイクルに異変が起こり、減収。	理容業
	県内において、昨年から3つの整備工場でM&Aにより経営者の変更が行われている。結果的にはうまくいった形となっているが、現在、整備工場の経営者は、高齢や後継者がいないことを理由に廃業したいとの相談も多くなってきている中で、将来の経営における選択肢の一つとしてM&Aをうまく活用出来るようなセ	自動車整備業

	ミナー等を企画することも必要となってきたように思われる。	
	豪雨災害により山口県（特に東部地区）で大きな被害があり、夏のイベントや花火大会が多数中止になった。このことにより、夏と言えば浴衣のクリーニングがあるはずだが、極端に少なくなって売上に大きなダメージを与えている。また酷暑が続き、例年以上に夏場のクリーニング需要が激減し、資金繰り等大変苦しい状況。	普通洗濯業
	猛暑の影響もあるのか、JRの売上が伸びていない。	旅行業
	豪雨災害の影響が未だ残っており、宿泊者数、売上とも対前年同月比で6%の減少となった。SLの運休及び音楽イベントの中止も一因と思われる。	旅館業 山口市
	売上高、施設利用者の減少が続いている。続く猛暑で、高齢者が外出を控える傾向が見られる。JR山陽本線の一部不通が継続している。	旅館業 長門市
	今月も豪雨災害によるキャンセルを引きずった。また猛暑のためか昼の飲食が減少。	旅館業 下関市
	豪雨災害の影響で、流通、人の移動が止まったことなど、大きく影響があった。今後、天災時の対策など、必ず起こるものとして考えて準備しておかなければいけない。10月からの最低賃金UPも経営を圧迫すると考えられる。	飲食業
建設業	中電への工事申請8月93件（当支部分66件）、前年同月216件（同202件）。太陽光発電への申請24件（前年20件）オール電化申請47件（前年53件）。LED街路灯への切り替え・新規申請11件（前年0件）であった。	電気工事業
	工場の増設工事は継続するものの、全体的な工事量は昨年以来減少している。自然災害の発生頻度及び規模が拡大しており 再来年頃より防災基準の引上げや避難施設充実のための公共工事が増加すると予想される。	左官業
	例年通り仕事量は確保できているが、人手不足により、仕事の引受先の調整が困難となってきた。若手が増えないこと、社員の高齢化などが問題となっている。	管工事業
	続く猛暑日で、現場の作業環境は厳しい状況にあるため、完工高は減少傾向にある。また、台風の影響で工事の遅れが起きたが、大きな被害はなかった。相次ぐ大きな自然災害の発生により、修理工事等の小工事が多くなってきた。個人客の直接の依頼も多く、受注工事額の増加は望めないが、収益性の向上には一役買っている。	屋根工事業
	7月に続いて好調であった。例年では、9月頃から年度末にかけて公共工事の準備が始まるのだが、今年はその公共工事が3月以降の完工にずれ込んでいるよう	内装工事業

	で、通常では忙しかった年末年始から年度末が暇になるのではと心配である。原因は、専門工事の労働者不足もあるが、建設会社(元請)の現場管理者の不足もあるようである。	
	豪雨災害により柳井市で大小含めて約300箇所が被害を受け、総額約8億円の被害になるとのことで、平成30年度中には完成できないだろうとのこと。工事の平準化はなされておらず、公共工事の発注は今の段階ではほとんどない。	土木工事業 柳井市
	昨年同様、公共工事受注はゼロだが、豪雨災害が地元でも各所発生し、その災害復旧工事で忙しかった。	土木工事業 周南市
	受注高は、対前年同月比43.9%。今年度の累計は、対前年比107.9%。	土木工事業 萩市
運輸業	輸送関係は、盆休み期間が5日～9日間あり稼働日数が少なかったが、輸送量はほぼ確保できた。今月は下松-光間の鉄道輸送が不通のため、トレーラー車等での長距離輸送を集中的に、約80%をこなし、対前年同月比プラマイゼロとなった。相変わらずの長・中距離ドライバー不足に難渋した。近距離輸送は順調に輸送できた。油関係は、0.5円の値下げ。	一般貨物自動車運送業 下松市
	広島県の豪雨災害の影響も一段落し、輸送受注は対前年同月比約10%増加した。燃料費については高止まりの状況であり、上昇傾向には変わらない。対前年同月比で約25%の上昇。	一般貨物自動車運送業 防府市
	前年同月より売上は増加し、収益状況も良かった。豪雨災害で、従来貨物列車で運ばれていた荷物が、トラック輸送に回ってきているので、荷物量が増えてきている。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	売上は対前年同月比10%減少。原因としては、全体的な売上の減少と豪雨災害時に破損した車の修理が長引いたため。大型客船の寄港はあるが、タクシーの利用はほとんどなし。	一般旅客自動車運送業 下関市
	タクシーチケットの取扱い金額は、前年比+0.5% (平成30年7月1日～平成30年8月20日分)。7月1日～31日分は▲1.4%、8月1日～20日分は+4.2%。7月は若干不調だったが、8月になって持ち直しつつある。7月分について当組合の取扱地区別に見ると、周南+0.7%、下松▲5.8%、光+7.7%、防府市地区が▲6.5%で、組合員の全域では▲0.8%、地区外(員外)▲9.7%で合計▲1.4%(▲332千円)。JR在来線の復旧が待ち望まれる。主要燃料であるLPGについては、CP(通告価格)と為替に連動して変動するが、CPが上がり(前月565.0\$/トンが今月582.5\$/トン、前年412.5\$/トン)、輸送用バンカーC重油も(前月448.0\$/トンが今月463.0\$/トン、前年310.0\$/	一般旅客自動車運送業 周南市

	<p>トン)上がった。為替も円安(前月111.03円/\$が112.38円/\$)になり、燃料単価は前月よりさらに+2.7%増加した。対前年同月比で+18.5%と高騰しており、タクシー事業者の収益は大変厳しい状況。タクシー乗務員は慢性的に不足し、高齢化もあって実働率が下がっているため、曜日や天候、時間帯によっては、配車が大幅に遅れるような状況が続いている。7月は、豪雨災害(JR不通による需要もあるが、合計では減少)や猛暑により、取扱い金額は減少となった。8月になって、回復しつつあるが、前年8月が大幅に少なかった(▲5%)こともあり、回復しているとまでは言えない状況。</p>	
	<p>石灰石に加え、雑品の取扱も増加したため、先月に続き、取扱高は対前年同月比でやや増加した。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他非製造業</p>	<p>今期は、外国人技能実習生の1期生が入国する予定。</p>	<p>介護事業</p>